

NEWS

JAAF
HIROSHIMA

陸協ひろしまニュース
一般財団法人 広島陸上競技協会

第97号

R3.7.17発行

山縣亮太が日本新 夢の9秒台!!

広島から3選手(山縣亮太・高山峻野・木村文子)が
東京オリンピックピックに出場!



この度、東京オリンピックの男子100m代表に内定いたしました山縣亮太です。

4月の織田記念での優勝を皮切りに、9秒95の日本記録樹立、代表権獲得とこられたのも、地元・広島の皆さまの応援があったからです。本当にありがとうございます。このような難しい状況ではありますが、精一杯走りしたいと思います。皆さんの応援が力になります、よろしく願いいたします。

山縣 亮太

陸上人	# FILE0034
長年の夢を実現! 日本人4人目の9秒台	
山縣亮太	短距離走 セイコーホールディングス Ryota Yamagata
プロフィール	山縣亮太(やまがた・りょうた) 1992年(平成4年)6月10日生まれ 広島修道中(広島)→広島修道高(広島)→慶應義塾大学→セイコーホールディングス
自己ベスト	100m 9秒95(2021年 布勢スプリント・日本新) 200m 20秒41(2013年 関東インカレ) 4×100mリレー 1走 37秒60(アジア新・日本新、2016年 リオデジャネイロ五輪)



写真提供:児玉育美

点があるからだ。修道中で11秒4台に入った時、「残りの競技人生でこの1・5秒を縮めてやる」と初めて9秒台を意識したという。2012年の織田記念の予選では2・0mの追い風を受けて10秒08をマーク。初めて10秒0台に突入した時に、9秒台の夢は現実的な目標に変わった。17年には桐生祥秀に日本人初の9秒台を記録されたが、失意を乗り越えて秋には自己ベストの10秒00をマークした。18年のアジア大会でも10秒00。突破は時間の問題かと思われた。

だが、ここから最大の試練が待ち受けていた。19年は気胸や腰痛、20年は右足首など故障が相次ぎ、試合出場すらままならない状態に陥った。20年のシーズンベスト10秒42は、修道高3年時(10秒30)の記録をも下回った。冬には右膝を痛め、「一番つらかった」とどん底にあえいだ。過去何度も故障からよみがえってきた山縣をもってしても、「東京五輪の代表は厳しいのでは…」と危ぐする声で陸上関係者の間でも大きくなっていった。

崖っぷちからの復活。それは不屈の精神力が生み出した。「自分の殻を破る」と従来の練習方法を見直し、母校慶大の高野大樹コーチに指導を願い出た。4月29日には広島での織田記念で、桐生や多田らを置き去りにして優勝。観客席から大きな拍手と声援を受け、「これを一つのきっかけにして、今季はどんだんいい流れでやっていける。そういう自信がついたレースになった」と喜びをかみしめた。その宣言通り、故郷での力走を見事な日本新記録と五輪切符に昇華させてみせた。

広島生まれのスプリンター山縣亮太(セイコー、修道高出)が、苦しみながらも3度目の五輪切符を手にした。6月6日に自身初の9秒台となる9秒95をマークし、初めて「日本記録保持者」として日本選手権に登場。25日の決勝で10秒27の3位に食い込み、「本当は優勝したかったが、厳しい戦いになると思っていたこの代表選考会でしっかり代表を勝ち取れたことはすごくうれしく思う」と喜びをかみしめた。

「コースに集中する」と誓った山縣だが、「中盤くらいで多田選手が見えて、追い付こうと思ってかんでしまった」。中盤以降の伸びを欠き、ブルーノにかわされたものの、小池には1000分の1秒差で先着。3位を死守した。小池との差を「運だと思う」と振り返り、「気持ち空回りにして硬いレースになった」と反省の言葉を述べた。

とはいえ、2019、2020年は故障でほぼ棒に振ったことを思えば、ドラマのような復活劇だ。6日には鳥取市のヤマタスポーツパーク陸上競技場で開催された布勢スプリント決勝で、追い風2・0mを背に9秒95の日本新記録を樹立。「9秒台は長年の夢だった。日本記録になって2倍うれしい」と感慨とともに振り返った。その後、数多くの祝福メッセージを受け取る中でも、「鈴ヶ崎小学校の同級生から来たのは、すごく久しぶりで、うれしかった」とにっこり。「父の日、母の日で特に何かしてあげられていなかったもので、いいプレゼントになったかな」と故郷の両親への思いを口にした。「広島」に思いをはせたのは、9秒台への長い闘いの原



東京五輪では広島にもゆかりが深い吉岡隆徳以来、日本勢89年ぶりとする決勝進出を目指す。過去2回とも自己記録を更新した「五輪男」は「自分の持てる力をしっかり発揮すれば、いい結果がついてくる舞台だと思っている」。日本選手団の主持も担当する29歳から、目の離せない夏がやって来る。

text by K

写真提供:中国新聞社

人間力の証 9秒95

日本陸上競技連盟 強化委員会 委員長 麻場 一徳

病気が怪我、またコロナ禍という苦難を乗り越えて9秒95という偉大な記録を達成した山縣選手の努力に心から敬意を表します。10秒00を記録して以降の長い道のりでは、あきらめかけた瞬間もあっただろうと推察します。そこを乗り越えた人間力にも最大の賞讃を贈ります。いよいよ東京オリンピックを間近に控え、山縣選手をはじめとする日本代表選手の活躍を楽しみにしたいと思います。



想いは叶えたそして次なる夢の実現へ

広島陸上競技協会 会長 三宅 勝次

9秒95。やったぞ! たまたま! 感動! ハンザイ! 30年前、東京世界陸上、カールルイスは9秒88の世界新記録で100mを駆け抜けた。ビックリだった。しかし、この年の日本記録は10秒20。誰が、30年後に100mを9秒95で走り抜ける日本人が現れると予想できた。だが、国体でいつも頑張ってくれる広島山縣が、ついにやり遂げた。おめでとう。頑張った。苦労した。涙が出た。いつもスタート前緊張のお前だが、9秒95の時計と一緒に太陽のような笑顔が嬉しかった。2020東京オリンピックでも、未知の世界に挑む走り心身の姿勢を次代を担う子ども達に見せてくれ。木村文字、高山峻野、2020東京オリンピック出場決定おめでとう。広島が誇るハードル娘とハードル息子。逆境を乗り越え、粘りに粘って掴んだ東京オリンピック出場。本当におめでとう。よく頑張った、辛抱した。ヒヤヒヤした。ほっとした。みんなみんな拍手した。ここまでよく来た。次は強気だ。攻めろハードル。広島ハードル大好きチッコ達の夢となれ。

山縣が歴史を創る! 陸上男子100m 日本新9秒95!

亮太、日本新記録と3度目のオリンピック内定おめでとう!



友人 宮原 弘季

亮太とは小学生時代に陸上クラブで出会って以来、かれこれ20年の付き合いになる。いま思い返すと本当に色んなことがあったなあと思います。特に思い出深いのはやっぱり中高時代の6年間。2人で朝練で1500m走ったり、部活で川原を走ったり、坂ダッシュしたり、部活後しようもない話をしながら自転車で帰ったり、あの日々が少しでも今の日本新記録に繋がっているかもしれないと思うと、とても不思議な気持ちになります。普段はチャタリングで抜けているところもある亮太だけど、陸上に向き合う姿勢や考え方、そして陸上への執念や拘りは、誰よりも強いものを持っていると思っています。だからこそ、壁にぶつかったり悩んだりすることも、昔から人一倍多かったと思います。でもどんな時も、最後にはその困難を乗り越える亮太の姿を何度も見てきました。日本記録保持者として参加するオリンピックの重圧なんて想像もつかないけど、亮太なら大丈夫。そう思うて安心して応援しています。悔いのないレースができるよう、心から祈っています。頑張れ! 亮太!

山縣亮太君に贈ることば

修道中学校・修道高等学校 陸上顧問 池内 啓

布勢スプリント2021での男子100m日本新記録の樹立、誠にありがとうございます。広島県だけでなく、日本の陸上界にとって素晴らしい記録であり、山縣君がまじめで素直な性格だからこそ、成し遂げることができた快挙だと思います。山縣君は、2005年修道中学に入学した頃、陸上部の中で誰よりも笑顔で仲間と接する、とても優しい生徒でした。中学1年には、5月中旬まで部活動が禁止という独自ルールがあるので、陸連登録が遅くなり、なかなか試合に出場できず辛かったと思います。しかし、自主的に練習を続け、大会出場が可能になってからは、多くの種目に出場して、とにかく元気に活躍しました。素晴らしい笑顔によって他の部員たちも楽しく練習することができ、中学3年の時には宮城県開催の全中へ(100m×4×100mリレー)出場することができました。仙台駅前のカレー屋さんで大盛を食い合いながら食べることもとても懐かし思い出されます。ケガを何度も克服し、自分の限界に挑み続ける姿は、広島若き陸上選手たちにとって夢や希望であり、誰にも負けない素直な笑顔は黄金色輝くメダルのようです。東京オリンピック2020では、山縣君の笑顔がさらに輝くように、みんな応援をしています。

1 2007年4月 織田幹夫記念陸上競技大会



1 2007年8月 全日本中学校陸上競技選手権大会

亮太君、でっかいでっかい夢をありがとう。

広島ジュニアオリンピッククラブ元副会長 日山 君代

6月6日「山縣亮太、9.95で日本新記録、仏壇にすぐに報告に行きました。お酒が好きだった夫(3年前に他界した元会長の正光氏)は天国で祝い酒を飲んで一晩中飲んだことでしょうか。日本人で最初に9秒台を出したい!」亮太君は常々言っていました。周りもそれを期待し、応援していました。当時、夫は「周りがかわいー騒いではいけません」と、期待に応えようとする亮太君を気遣っていたことを思い出します。ついに、お父さん出しましたよ。日本人最初ではないけれど、日本新記録、日本人一番ですよ。小学校4年生の春の大会で100mを駆け抜ける亮太君を初めて見ました。小柄でしたが、これまでにあったことのない体幹がしっかりとしたきれいな走りをする小学生。夢を持つならでっかいオリンピックに出場する選手に育てたい、「夢はでっかいオリンピックをスローガンに、立ち上げた広島ジュニアオリンピッククラブの指導者としては、オリンピック候補選手を見逃すわけにはいきません。すぐに、クラブへの入会を勧めましたが、当時、亮太君は少年野球をしていたため、断られました。「見学だけでも…」と練習の日時場所を伝えたところ、ほどなく、亮太君は顔を上げてくれました。「せっかくだから、走ってみよう」と促したところ、見事な走りには保護者から拍手喝采が沸き起こりました。「走ることでこんなにほかってもらえます。」「僕は、かけこみます。」とその場で、入会が決まりました。6月25日「山縣君が夢舞台!」お父さん、また、今日もお祝いを。眠れませんが、亮太君、あなたの走りは世界一美しい。みんながあなたの走りを見て、喜んだり、勇気づけられたりしています。亮太君、でっかい、でっかい夢をありがとう。



高山 峻野

ゼンリン 男子110mH

日本選手権男子110m障害決勝では、運も味方に付けた高山峻野(ゼンリン、広島工大高出)が背中痛みに耐え、13秒37で3位に入賞。崖っぷちから、初の五輪出場を決めた。22日の練習中に背中を痛め、予選は通過者で最下位の13秒63で通過。満足にアップができない状態で臨んだ決勝は、予選トップの13秒28を出した村竹ラシッド(順大)と実力者の石川周平(富士通)がフライングで失格。この時も激痛で「頭が真っ白になった」と言いながらも、執念の激走で五輪切符を呼び込んだ。中広中1年で野球から陸上一本に絞られ、110m障害で頭角を現した。3年時の全国中学校体育大会で4位、広島工大高3年時の6月には中国高校新記録となる14秒10をマークし、7月の世界ジュニア選手権で初の日の丸を背負った。全国タイトルには縁が薄かったが、明大3年時の2015年日本選手権で初優勝。2017、19年と世界選手権に出場し、19年には準決勝に進出。国際舞台での経験は十分だ。東京五輪も予選突破を目標に掲げ、「何と今の状態を維持して東京五輪に迎えられたら」と話す。13秒06の驚異的な日本新を出した泉谷駿介(順大)らとともに、広島市出身ハードラーが世界に存在感をアピールしそうだ。



木村 文字

エディオン女子陸上競技部 女子100mH

女子100m障害の木村文字(エディオン)が2大会9年ぶりの五輪代表に決まった。2019年から国際大会で力走し、コロナ禍や故障を乗り越えた末に、世界ランキングで種目出場枠(40)ぎりぎりの40位に滑り込んだ。「多くの方々の支え、ファンの皆様のおかげで、出場権獲得となりました。万感の思いを抱いて、2度目の夢舞台を走りだす。独自の闘いだった。19年アジア選手権を制した第一人者は、コロナ禍による東京五輪の1年延期を機に「一度試合から遠ざかって、もう一回やりたいと思えるように」と広島での練習に専念した。その間、寺田明日香(ジャパングリイェイト)や青木益未(七十七銀行)が好記録を連発したが、自分のペースと信念を堅持した。「集大成のシーズン」と現役最後の覚悟を持って臨んだ今季は、序盤から右膝痛を抱えて発進。それでも5月の五輪テスト大会や6月の木南記念でランキングポイントを積み重ねた。布勢スプリントでは今季最高の13秒12をマーク。日本選手権は準決勝で敗退したが、世界ランキングで五輪切符をつかんだ。24歳で臨んだロンドン五輪では、予選で13秒75の7番で敗退。「何もできなかった」と悔いを残したことが、17年世界選手権の同種目初の準決勝進出の糧となった。広島県出身の女子陸上選手が五輪に複数出場するのは初めて。「本番までしっかり調整し、五輪の舞台では、1本でも多くレースを走ることが出来るように準備してまいります」。広島が誇る33歳のハードラーが、集大成のレースを迎える。

写真提供:中国新聞社

年代別レポート

小学生

9月19日、日清カップ全国小学生陸上競技交流大会が2年ぶりに開催される。コロナの影響を受け、やや規模は縮小されるがコロナ禍で大会が開催されることに感謝をしたい。小学生にとって、唯一の全国大会。これを大きな目標にしている選手も少なくない。

予選会で全国大会の出場権を獲得した選手で結成する広島県選手団は、広島県代表として、全国の仲間と競い合い、満足のいく成績を収めることを目指す。

それ以上に、立派なスポーツマンとして、今後につながる豊かな経験をしてほしいと考えている。仲間と励まし合う、気持ちの良い挨拶を交わす、お世話になっている人に感謝の気持ちを表すなどである。

予選会も含めてこの大会を経験することで、ますます陸上競技を好きになり、長く競技を続けてくれること、それが私たちの願いである。

広島陸上競技協会指導・普及委員会
委員長 石川 和明

中学生

私が中学生の強化担当であった時の思い出がある。多くの選手と合宿したり、大会に引率したりする中で感じたことがある。それは全国のトップに成長する選手は、個性的で、無二の存在であるということ。ここではけっして陸上競技の場面だけが個性的という事ではない。学校では、周りのことを考えて行動することなど、横並びが正当となることもある。しかし自分は自分として貫いている選手が大成しているように思う。

自分が他の人と違うことにコンプレックスに思っている選手がいたら、それは大成のチャンスだと思えば自信に変える時である。私は、そういう選手と巡り合った時には、わくわくする。陸上競技は、他の人に邪魔されず、無二の存在を求めて自分と戦っていくスポーツだ。指導者としての私も、「〇〇バカ」と言われて喜ぶ自分がある。その時には「やっと認められた」と思う。歴史を作った者勝ちなのだ。陸上大好き少年少女の皆さん、思いっきり自己表現していこう。

今年すでに全国上位にランキングされている選手を記載する。無二の存在を目指して取り組



↑ 定年退職の顧問へ全国優勝をプレゼントすると意気込んでいる豊栄中学校の平井貴士と後輩のトレーニングパートナー兼王地悠昭

んでほしい。

男子砲丸投げ、平井貴士（豊栄中学校）女子砲丸投げ迫田明華（瀬野川中学校）男子400m榊原哲（高取北中学校）男子走り幅跳び相星周汰（矢野中学校）男子走り幅跳び柳川瑛太（国泰寺中学校）。

広島陸上競技協会強化委員
井上 恭治

高校生

新型コロナウイルス感染症の影響は、オフシーズンにおいても変わらず暗い影を落とし続け、昨年末に岡山県で行われる予定であった日本陸連・全国高体連主催の中四国合宿が中止を余儀なくされた。そこで本県高体連陸上競技部は、その代替えとして1月30日（土）・31日（日）の両日、東広島運動公園陸上競技場において2020年度日本陸連U-19強化研修合宿広島県合宿を開催。感染防止対策に万全の注意を払い、宿泊無しを通い合宿で実施した。短距離、中距離、ハードル、競歩、跳躍、投てきの各ブロック計140名の選手が参加し、無事に終えることが出来た。

また、日本陸連U19ジュニア強化研修合宿・全国高体連陸上競技専門部強化合宿が3月25日（木）～29日（月）の日程で愛媛コンジニアスタジアムにおいて行われ、広島県から12名の選手が参加し、全国のトップ選手とともに研鑽を積んだ。一方で、ほぼ同じ日程で山口県において開催が予定されていた中国高校合宿は残念ながら中止となるなど、先述の中四国合宿も含めコロナ禍のため選手にとって多くの貴重な研鑽の機会が失われたことは、非常に残念である。

4月に入り、新しいシーズンが始まった。思えば昨年度は4月中旬から学校が休校となったため、県高校総体予選となる各地区大会を行うことが出来なかった。しかし、今年は各地区大会、県高校総体、中国高校総体と予定通りに行われ、広島県からは全国高校総体に96名が参加する。選手の健闘を祈念するとともに、今後の競技会が感染防止対策のもと、無事に開催されることを願ってやまない。

広島県高体連陸上競技部 事務局長
五日市高校 野崎 秀和



学生連盟

県選手権に協力して

昨年の広島県選手権大会はコロナの影響で開催されることができなかったが、今回は感染対策を十分に行い無事に開催することができた。また、広島大学・広島経済大学・広島文化学園大学・広島工業大学・広島修道大学の5校の協力により、学生審判の人数確保ができた。大変な時期に県陸上界の力になれたことは、うれしい限りである。

今大会ではコロナ禍でも各自で練習を積んだ成果が発揮されていると感じた。広島修道大学では、5月14日から16日に開催された第75回中四国インカレに出場する予定であったが、大学側の定めるコロナ禍のガイドラインにより出場

することができなかった。しかし、気持ちを切らさず、各自で練習を考え取り組んだ結果、自己ベストの更新や中国五県の出場を決めた選手あるいは自己ベストに近い記録を出せた選手が多かった。

このような状況下でも大会に出られることに感謝し、9月にある全日本大学駅伝の予選会や10月にある中四国個人選手権大会に向け、各大学とも今まで以上に取り組んでいきたい。

中国四国学生陸上競技連盟広島支部
幹事長 竹井 寿明

実業団連盟

5月8日、15日、16日に三次市で開催された第60回中国実業団陸上当連盟所属選手が多数出場し活躍をした。男子では10000mでキブランガット・ダン選手（JFEスチール）が2年ぶりに大会記録を更新し優勝した。2位には同種目4連覇中のベテラン岡本直己選手（中国電力）が入った。

5000mもキブランガット選手が優勝、2位にはルーキーの三ツ星翔選手（中電工）が入った。女子では800mで今春世羅高校から実業団入りしたテレシア・ムツソーニ選手（ダイソー）が大会新をマークして優勝。3000mでは萩谷楓選手（エディオン）が20年ぶりの大会新で圧勝した。5000mと10000mは細田あい選手（エディオン）が制した。最優秀選手賞には、男子はキブランガット選手、女子は細田選手が選ばれた。

この流れに乗り、第59回広島県実業団陸上・第54回広島県学生陸上合同競技会（6月5日・庄原市）でも好記録の期待がかかったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、残念ながら大会は中止となった。

広島県実業団陸上競技連盟
山下 里恵

マスターズ連盟

2020広島マスターズ陸上競技記録会が、昨年9月13日庄原市上野総合公園陸上競技場で行われた。昨年度から参加者全員が陸連登録となった。昨年開催された唯一の大会であった。昨年度から新型コロナウイルスによる感染回避のため、全国的にマスターズ県選手権大会は中止状況である。日本陸上競技連盟のガイドラインにもあるように、高齢者の出場する大会には一段の注意が必要である。

このような状況から、記録会開催には大きなリスクを伴うが、敢えてマスターズは選手・関係者の皆様に安全を優先し、大会申し込みはコロナ感染予防措置優先で、体調とよく相談しながら参加して頂いた。黒木実行委員を中心に会員の皆様の献身的ご協力で、事故なく終わることができた。

記録会前日は大雨警報発令ヶ所もあり、影響も心配されたが皆さんの願いがかない、当日は天候も回復しまずまずのコンディションの中、新種目FW2000も取り入れて、参加者一同、健闘した。参加者160名のうち、M30澤田幸治、M70河田慎司、W24-西谷さなり、W50芦原広美、W70山田悦子各選手はマスターズ中国記録達成・広島県記録・大会記録続出!!（詳細はHPで）新型コロナウイルス等に負けない大会で大成功に無事終わることができた。

今年度の広島マスターズは中止となったが、9月の記録会は何とか行いたいと思っている。

●大会結果は

広島マスターズ陸上HPをご覧ください。
ホームページアドレス
<http://www.34hmr.com/>

広島マスターズ陸上 広報
磯村 公三

一般財団法人広島陸上競技協会 役員

会 長	(代表理事)	三宅 勝次
副 会 長	(業務執行理事)	東川 安雄 / 芦谷 茂 / 富中 宗義
専 務 理 事	(業務執行理事)	河野 裕二
常 務 理 事	(業務執行理事)	秋山 定之 / 中野 繁 / 浜崎 正信
理 事		荒谷 彰男 / 池内 啓 / 伊藤 國光 / 上木 薫 / 川堀 耕史 / 後藤 俊明 / 新宅 昭二 / 田川 司 / 長谷川改壮 / 平野 克彦 / 藤原 文代 / 松井 一清 / 松谷 清志 / 山田 貴子 / 横手 重男 / 吉田 明稔
監 事		川増 南岳 / 樽谷 和子 / 野坂 文雄
専門委員長	総務委員会 委員長	後藤 俊明
	企画広報委員会 委員長	藤原 文代
	強化委員会 委員長	松谷 清志
	競技運営委員会 委員長(競技部長)	田川 司
	副委員長(審判部長)	新宅 昭二
	施設用器具委員会 委員長	平野 克彦
	指導・普及委員会 委員長	石川 和明
	科学委員会 委員長	川堀 耕史
	情報処理委員会 委員長	秋山 定之
	特別委員会 委員長	専務理事兼務
事務局長	灰原 利彦	
事務局員	笠井 圭子	

各団体への派遣役員

- 日本陸連 理事: 浜崎 正信
- 検定員: 平野 克彦
- 技術役員: 飛垣内 徹
- 中国陸協会 長: 三宅 勝次
- 理事長: 浜崎 正信
- 理事: 河野 裕二
- 県スポーツ協会 常務理事: 河野 裕二
- 評議員: 東川 安雄

任期: 令和3年6月6日~令和5年定時評議員会終結の時

第105回 日本陸上競技選手権大会 第37回 U20日本陸上競技選手権大会

■開催日/2021年6月24日(木)~27日(日) ■会場/大阪・ヤンマースタジアム長居

入賞者

種目	選手名	所属	記録	順位
男子110mH	高山 峻野	ゼンリン	13"37	第3位
男子走高跳	真野 友博	九電工	2m27	第2位
男子三段跳	安立 雄斗	福岡大	16m04	第2位
女子ハンマー投	渡邊 茜	丸和運輸機関	66m24	優勝
女子やり投	佐藤 友佳	ニコニコのり	54m94	第8位

U20入賞者

種目	選手名	所属	記録	順位
男子走高跳	小林 祐大	福山平成大	2m08	第3位
男子走高跳	杉原 哲平	福岡大	2m08	第5位
男子三段跳	末盛 巧	修道高	14m85	第4位
男子ハンマー投(6.000kg)	迫田 力哉	日本大	67m79 PB	第2位
女子1500m	谷本 七星	名城大	4'20"57 PB	第4位
女子3000mSC	谷本 七星	名城大	10'13"49 大会新 PB	優勝
女子100mH	浅木都紀葉	広島皆実高	14"21	第7位

*PBは自己ベスト

聖火リレーのランナーを経験して

今回私は、昨年の先輩たちに代わって聖火リレーのランナーをさせていただきました。コロナの影響で実際に沿道进行することはできず、平和公園の中で走りました。それでも、トップアスリートの方々と一緒にセレモニーに参加できたことは私にとって一生の思い出となりました。思うように競技や練習ができない中で、こういう形でオリンピックに関らせていただいたことはとても貴重な経験となりました。

今回の経験を糧にこれからの陸上競技生活の中で、日頃から応援してくださっている多くの方々に自分の走り感謝を伝えたいです。

広島県立世羅高等学校 女子陸上部
キャプテン 細迫 由野



聖火ランナーを通してオリンピックに関わる貴重な経験をすることができました。聖火ランナーをする時まではコロナの影響でオリンピックができなかったけど、いざトーチを持つとワクワクして、本当に日本でオリンピックがあるんだと実感できて嬉しくなりました。オリンピックに出場したいという気持ちが高まりました!次は私がバリの舞台で走ります!!

比治山女子高等学校 陸上部
脇坂 里桜



走ることが好き、歩くことが好き、
走る人を応援することが好き、
ワクワクするその気持ち
そう! あなたも陸女!! RIK★JO

青少年の夢を応援します!

青少年健全育成協力企業

- 中国電力株式会社
- 朝日医療専門学校広島校
- 株式会社大創産業
- 株式会社ツルハグループ
- ドラッグ&ファーマシー西日本

- 広島駅弁当株式会社
- 広島管公生服株式会社
- 株式会社中電工
- ライオン株式会社
- アシックスジャパン株式会社
- 大塚製菓株式会社広島支店
- 株式会社合人社グループ
- 創建ホーム株式会社

- 株式会社ひろぎんホールディングス
- JR西日本プロパティーズ株式会社
- 広島ダイヤモンドホテル
- 株式会社もみじ銀行
- 株式会社リヴボックス
- 株式会社いとや
- 株式会社ウイズアート
- 株式会社コマップス

- 株式会社体育社
- 株式会社ニシスポーツ
- 株式会社BTM
- 広島ガス株式会社
- 広島経済大学
- 広島信用金庫
- デサントジャパン株式会社
- 有限会社道後山高原サービス

有限会社カオル交通

特別協力企業

- ミズノ株式会社
- 株式会社キリンビバックス

(順不同)